

ダイカトールG I A-45

大同化学工業株式会社
技術研究所

1 特 徴

- (1) 構成刃先の生成抑制効果が強く、シェービング等の仕上げ加工に威力を発揮します。
- (2) 低粘度の切削油であるが、アンチミスト性良好な塩素フリー切削油で、公害問題を起こし難い。
- (3) ガンドリル、タップ加工等にも効果的です。

2 用 途

一般切削 : スティール系の切削 旋削・ミーリング・ドリル・リーマ・タップ
シェービング・ギヤシェーパー・ガンドリル

一般研削 : スチール材の円筒・平面研削

3 一般性状

J I S	N 4 種 7 号相当品	引火点 (COC, °C)	1 6 0
外 観	黄褐色透明	塩素分 (%)	0
色 (ASTM)	3 . 0	硫黄分 (%)	2 . 5
密度 (15°C, g/cm ³)	0 . 9 0	脂肪油分 (%)	7 . 0
粘度 (40°C, mm ² /s)	1 2 . 9	消防法	第四類第三石油類

* 上記数値は、ラボサンプルの測定値であり、規格値ではありません。

4 一般性能

銅板腐食 (1 0 0 °C × 1 hr)	4
耐圧力 (MP a) 200rpm, 0.049MPa ステップ	1 . 4 2
摩擦係数 μ	0 . 1 1

耐圧力 ; 曾田式四球形潤滑油試験機 摩擦係数 ; 曾田式振り子型摩擦試験機

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : ダイカトール G I A - 4 5
会 社 名 : 大同化学工業株式会社
住 所 : 〒639-1037 奈良県大和郡山市額田部北町 1021
担 当 部 門 : 奈良生産技術事業所 品質保証部 (担当者: 森下仁視)
電 話 番 号 : 0743-56-1201
FAX 番 号 : 0743-56-1204
メールアドレス : info@daido-chemical.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性／引火性ガス	: 分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性／酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 分類対象外
自然発熱性化学品	: 分類対象外
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	: 分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない

皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発ガン性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 区分 1

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	: 分類できない
水生環境有害性（長期間）	: 区分 3
オゾン層への有害性	: 分類できない

ラベル要素

絵 表 示 :



注 意 喚 起 語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
長期継続的影響により水生生物に有害
注 意 書 き : 4～8 項の安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
JL No.00+01

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
成 分	: 精製鉱油 エステル 潤滑添加剤 防食剤

4. 応急措置

眼 に入 っ た 場 合	: 清浄な水で 15 分以上洗眼した後、医師の診断、手当てを受けること。コンタクトレンズを使用している場合は、可能であれば取り除いて洗眼する。
皮 膚 に 付 着 し た 場 合	: 多量の水と石鹼で洗うこと。
吸 入 し た 場 合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、手当てを受けること。
飲 み 込 ん だ 場 合	: 口をすすぎ、無理に吐かせないこと。医師の診断、手当

てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消 火 剤 : 消火薬剤（二酸化炭素、粉末、泡、乾燥砂）
使ってはならない消火剤 : 棒状水
特 有 の 危 険 有 害 性 : 燃焼する際に一酸化炭素ガス、二酸化炭素ガス、
亜硫酸ガスの発生のおそれがある。
特 有 の 消 火 方 法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用し
て消火する。消火作業は出来る限り風上から行
なう。関係者以外は安全な場所に退避させる。
周囲の設備に散水して冷却する。消火のための
放水等により、製品もしくは化学物質が河川や
下水に流出しないよう適切な処置を行なう。
消火作業者の保護と予防措置 : 消火作業者は燃焼ガスを吸い込まないように注
意すること。また、適切な保護具（手袋、マス
ク、眼鏡等）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人 体 に 対 す る 予 防 措 置 : 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の
立入りを禁止する。
環 境 に 対 す る 予 防 措 置 : 流出した製品が河川や下水に排出され、環境
への影響を起こさないようにする。大量の流
出には盛り土などで囲って流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェス、吸着マット、乾燥砂等に吸収させ、
紙袋またはドラム等に回収する。
二 次 災 害 の 防 止 策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除
く。回収物の収納容器は、内容物の処分を行
うまで密封しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い : 火気厳禁。火気、静電気、衝撃火花等による着火源が生じない
よう注意し、換気の良い場所（全体又は局所排気装置設置場所
等）で行なう。
接触、吸入防止のため、適切な保護具（手袋、マスク、眼鏡等）
を着用する。
取扱い後は、手洗い、うがい、洗顔等を十分に行なう。
保 管 : 冷暗所に保存し、火気、熱源より遠ざけること。
可燃物を近くに置かないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いは全体又は局所排気装置設備を設置した場所で行なう。
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : 設定されていない。
 日本産業衛生学会 (2006 年度版) $3\text{mg}/\text{m}^3$ (鉱油ミスト)
 ACGIH (2004 年度版) TWA $5\text{mg}/\text{m}^3$ (鉱油ミスト)

保護具 :



保護めがねの着用



マスクの着用



保護手袋の着用

呼吸用保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスクを着用すること。
 手の保護具 : 状況に応じ非浸透性手袋, 耐油性手袋を着用すること。
 眼の保護具 : 状況に応じ保護眼鏡を着用すること。
 皮膚及び体の保護具 : 状況に応じ定められた作業衣等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	等	: 黄色～黄褐色透明液体
密度	度	: 0.89 (15°C g/cm^3)
粘度	度	: 12.9 (40°C mm^2/s)
溶解性	性	: 水にほとんど溶解しない
引火点	点	: 160°C (C.O.C)
可燃性	性	: あり・・・火気厳禁
発火点 (自然発火温度)	:	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 常温で暗所に貯蔵・保管された場合安定である。
 危険有害反応可能性 : データなし
 避けるべき条件 : 火気, 静電気, 衝撃火花, 高温物等
 混蝕危険物 : 強酸化剤との接触を避ける。
 危険有害分解生成物 : 燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

1 1. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発ガン性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 危険有害性情報に注意し、地方自治体又は国の法律に従い処理すること。外部委託時は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
当該油剤には硫黄系添加剤を含み燃焼処理を行なう際に腐食性のガスや有害物質の発生が懸念されますので、その対策を行なって下さい。
- 汚染容器及び包装 : 空容器には残油があるので、空容器の切断、溶接、穴あけ等の加工をしないこと。空容器は製品の保管及び輸送する目的以外での再使用はしないこと。

1 4. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連分類 : 該当しない

国 連 番 号 : 該当しない

容 器 等 級 : 該当しない

国内規制

輸送又は輸送手段に関する特別 : 輸送に当たっては、消防法、危険物の規則等の
の安全対策 基準に従うこと。

1 5. 適用法令

消 防 法 (危 険 物) : 第 4 類第 3 石油類 非水溶性 (指定数量 : 2000L)

労 働 安 全 衛 生 法 : 第 57 条 表示対象物質を含有しない。

第 57 条の 2 通知対象物質を含有する。

(物質名) 鉱油

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない。

輸 出 貿 易 管 理 令 : 対象外

航 空 法 : 該当しない。

港 則 法 : 該当しない。

海 洋 汚 染 防 止 法 : 該当しない。

船 舶 安 全 法 : 該当しない。

1 6. その他の情報

引 用 文 献 : 化審法 既存化学物質 ハンドブック第 4 版 化学工業日報社
GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作
業場内の表示及び安全データシート (JIS Z 7253:2012)

問 い 合 せ 先 : 大同化学工業(株) 品質保証部 TEL 0743-56-1201

FAX 0743-56-1204

※ 記載内容は現時点で入手可能な資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、化学製品を安全に取扱うための参考情報として提供されるものであり、安全を保証するものではありません。また、記載内容の含有量、物理化学的性質等についても保証されるものではありません。

この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

すべての化学製品には未知の有害性が考えられますので、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において安全な条件を設定下さるようお願い申し上げます。